



# かも博美後援会 会報誌 わかば

No. 51

2023.10

裾野市議会議員

かも ひろみ  
**賀茂 博美**



裾野市伊豆島田 230-4

TEL・FAX: 993-1876

## 《 ご挨拶 》 ご要望、ご相談、ご意見等ありましたら、お気軽にお声掛けください！

今年は猛暑日が続く日々でしたが、体調を崩されたりはしていませんか？気象庁は、今年9月は126年間の観測史上で最も熱かったと発表しました。10月にかけても異例の残暑が続く見込みとのことです。熱中症や食中毒にもお気をつけてお過ごしください。

裾野市議会では令和4年度決算の審査を中心とした9月定例会が閉会しました。一般会計決算では14年ぶりに実質単年度収支が黒字となりましたが、法人税の大幅増、財政力指数の悪化による地方交付税の歳入増の影響も大きく寄与しています。今後も安定した財政運営が求められます。



## 文化センタースプリングラー事故から1年



2022年9月24日

大ホールのスプリングラーが突然作動公演を予定していた楽団の楽器が水に濡れ、楽器を守ろうとした演奏者5人が転倒して怪我を負った。



裾野市は、  
事故／事件の可能性を表明

- ① 点検業者へ異常や故障の有無の確認
- ② 人為的な要因も否定できないと警察へ相談



楽団は、独自に原因を調査するための  
「**事故被害検討委員会**」を設置



裾野市は、事故原因調査のための  
「**事故調査委員会**」を設置

「**設備不備の漏水による誤作動**」との結論

事故原因の究明と「**補償**」を要請

「**原因は特定できない**」との結論

「**和解金の支払い**」を申し入れ

年内には「**補償**」を請求し、協議が整わない場合は、  
**損害賠償請求訴訟も検討**（報道より）

大ホールの今後の修繕、再開に向けた方針もまだ未定です。  
誠意のある対応と再発防止の取り組みが求められます。



# 令和 4 年度 決算の概要

**歳入** 214億1723万円（前年度対比 6.6%の減）

## 主な市税（前年度対比）

個人市民税 30億9502万円（△1629万円減）  
法人市民税 11億8715万円（6億6702万円増）  
固定資産税 48億9388万円（△8706万円減）

- 法人市民税は、市内の企業業績が伸びたことによる大幅な増額
- 地方消費税交付金は、コロナからの経済水準の回復などを反映し増額
- 地方交付金は、財政力指数が下がったことにより大幅な増額となりました。

## 国からの主な交付金（前年度対比）

地方消費税交付金 13億7898万円（3983万円増）  
地方交付金 9億150万円（3億4594万円増）

UPI



**歳出** 200億6948万円（前年度対比 9.1%の減）

### 感染症対策・物価高騰

国による新型コロナ対応臨時交付金（3億2千万円）を活用した  
感染症対策、物価高騰への支援を実施



### 建設

岩波駅周辺整備事業の実施  
都市計画道路平松深良線の整備  
（仮称）御師公園整備への関連事業  
河川災害復旧（泉川、谷津川）  
地域要望への対応を実施



### 教育

学校の統廃合に関する再編計画を策定し、向田小と東小の統合の方針を決定  
コミュニティスクールの導入  
学校への支援員の配置  
通級教室の拡充



### 産業

ふるさと納税事業（寄付額1億4723万円）  
スポーツツーリズム事業の充実  
地域特産作物（そば・キヌア）活性化支援  
ヘルシーパーク管理運営  
市内企業支援



### 子育て

福祉保健会館（2F）いきいきホームの跡地へ、児童館機能、家庭児童相談室を備えた「子ども家庭総合支援拠点」を開設  
民間こども園の整備支援



### 福祉

高齢者・障がい者等への支援事業の実施  
生活自立支援センターの開設  
介護保険事業、予防事業の実施  
子ども医療費の助成



## 討論・採決



私立保育園における不適切保育への対応、予算を削減したことによる通学路整備や地元要望への対応が不足していたことにより**反対**の意見。  
第2期行財政構造改革の初年度として、改革への取り組みがなされたことを評価できるとした**賛成**の意見。

採決の結果、賛成多数で令和4年度決算は**認定**されました。



## Q. 建設発生土（残土）処理場の整備について

人々は暮らしやすい環境を求めて、土地の造成や道路工事など環境整備を行なってきました。しかしその傍で建設発生土の処理は有効活用されるばかりでなく、不適切な処分により住民生活に悪影響を与えることもありました。

熱海市伊豆山の土石流災害は、建設発生土の問題をクローズアップさせ、静岡県は盛土規制条例を施行、国は盛土規制法を成立しました。厳しい規制による再発防止に期待される一方、処分場の建設発生土の受入れは慎重になり、受入れ制限や受入れ拒否をする処分場もあります。また、市内の大型建設事業による影響も大きく、市内建設関係者が残土の処理に困る事態となっています。



市が発注する公共工事の建設発生土の処分場を、市の責任として自ら整備することへの見解を伺う。

残土の仮置き場を含め、公共工事分の置き場は前向きに検討していくが、設置時期は未定、適地の選定が鍵となるが、民間同様に市が設置することも難しい状況である。

建設発生土の有効活用は重要である。官民間を含め、現場間の流用の現状を伺う。また、現在困っている建設関係事業者と話し合いの場を持ちながら、解決に向けた方策を共に考えていく必要があると考えるが見解を伺う。

現場間で流用するためには土質改良が必要であり、有効な活用は進んでいない。事業者の方々との話し合いの場を持ち、解決に向けて取り組んでいきたい。

## Q. 市民課窓口直営化に向けた業務改革について

市民課窓口はこれまで民間に委託していましたが、来年4月から直営化となります。民間に劣らないサービスを提供するには、適正で迅速な事務処理を行うための、効率を高める業務改革が必要であると考えます。

マイナンバーカードの普及に伴い、コンビニを活用して証明書を発行する方が多くなっています（窓口7割：コンビニ3割）。コンビニ交付で対応できる方は来庁せずにいつでも証明書を即時に手にすることができるメリットがあるだけでなく、窓口の混雑緩和、来庁された方へ丁寧に対応するための時間を確保できることに繋がると考えます。

市民が窓口に行かずにサービスを提供できるコンビニでの証明書の交付を拡充（戸籍関係書類の追加）することへの見解を伺います。  
（現在は住民票、印鑑証明書、税証明のみ）

コンビニ交付の活用にはシステム改修費等の費用が課題となります。今後、オンライン申請や国の制度により戸籍の広域発行が開始されるため、状況を見ながら検討していきます。



# 行事開催情報

2020年に国内で新型コロナウイルスが確認されてから、“人が集う場”は自粛の傾向が続きましたが、2023年5月に新型コロナ感染症が5類に移行したことに伴い、各地で様々なイベントが再開されています。今後予定されているイベントの情報をお伝えします！

## 市民のふれあいフェスタすその 産業祭

10月14日(土)、15日(日) 10:00~16:00 裾野市民文化センター  
主催：裾野市商工会・裾野市



## コミュニティまつり

11月5日(日) 西地区 8:50~13:00 西小学校  
東地区 9:00~13:00 向田小学校



## 裾野市民芸術祭

第1部 11月3日(金)~5日(日)  
第2部 11月8日(水)~12日(日)  
10:00~16:00 裾野市民文化センター  
主催：裾野市・裾野市教育委員会 主管：裾野市文化協会



## ラリーチャレンジ in 富士山すその

11月5日(日) 10:00~16:00 裾野市民運動公園



## 第47回富士山すその花火まつり

11月18日(土) 12:00~19:00 裾野市民文化センター  
18:00~花火  
主催：富士山すその花火まつり実行委員会



## 第50回裾野市農業まつり

12月10日(日) 9:30~14:00 裾野市民文化センター  
主催：裾野市中核農業者協議会



その他、各地でのイベントが開催されます。  
最近ではインフルエンザの流行、新型コロナ感染症患者の増加が見られる状況ではありますが、感染予防にお気をつけながらお楽しみください！

## 編集後記

現在、中国杭州では「アジア大会」が開催されています。オリンピック競技からアジア特有の競技まで、選手の方々が真剣勝負で一生懸命プレーする姿は胸を熱くするものがありますね。

さらにフランスではラグビーワールドカップが開催されています。  
ラグビーの魅力は、小柄な選手、長身の選手、足の速い選手、体格の良い選手など、それぞれの特徴を活かし各々が役割を果たすことでチームを支え合っているところではないでしょうか。こちら楽しみです！

皆様もスポーツの秋、食欲の秋、芸術の秋と、充実した日々をお過ごしください。

裾野市議会議員 賀茂 博美

